第 1 2 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和4年11月24日

定 例 会

令和4年第12回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和4年11月24日
 招集の場所 越谷市中央市民会館4階 第16・17会議室
 開閉会日時 開会11月24日 午後 1時30分
 閉会11月24日 午後 2時11分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	荒 木 明 子	委 員	渡 辺 律 子
委 員	山 口 文 平		

欠席委員 東 宏 行

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	鈴 木 功	学校教育部長	青 木 元 秀
教育総務部 副参事兼 教育総務課長	會 田 修	学校教育部 副部長兼 学校管理課長	五十嵐 治
教育総務部 副参事兼 スポーツ振興 課 長	八木下 太	学校教育部 副参事兼 指 導 課 長	小野寺 秀 明
生涯学習課長	木 村 和 明	学務課長兼 小中一貫校 整 備 室 長	磯 山 貴 則
図書館長	茂 木 実	給 食 課 長	中 野 聡
生涯学習課 調 整 幹 兼 科学技術体験 センター所長	小 拔 麻衣子	教育センター 所 長	菊 池 邦 隆
大袋公民館長	綿 引 香 子	学 校 管 理 課 調 整 幹	杉 田 直 也
		指 導 課 調 整 幹	田 嶋 栄 蔵
		給 食 課 調 整 幹 兼 第一学校給食 センター所長	益 本 雅 行

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課
調整幹 濱田尊則

	議 事	てん末
議	教育長報告	
	・教育長専決第29号について	
	協議事項	
	・令和4年度越谷市二十歳のつどいについて	
	その他	
事	・令和5年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況について	
状		
況		

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより11月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本日の会議に当たりまして、越谷市教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、東委員より欠席届が提出されておりますので、ご報告いたします。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、越谷市教育委員会傍聴人規則第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

(午後 1時30分)

◎教育長報告 「教育長専決第29号について」

吉田教育長 それでは、教育長報告「教育長専決第29号について」、教育総務部長から説明いたします。

教育総務部長。

鈴木教育総務部長 それでは、教育長専決についてご報告させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の1ページをご覧ください。

去る10月27日の定例教育委員会会議以降、本日までの間に教育長が専決処理いたしました、1件の専決事項について、ご報告をさせていただきます。こちらにつきましては、教育委員会会議の議決事項ではございますが、緊急に処理する必要があり、かつ教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、越谷市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定に基づき、教育長が専決処理を行ったものでございます。

なお、教育長が専決処理を行った事項につきましては、同規則第2条第3項の規定に基づきまして、本定例会においてご報告をさせていただくものでございます。

それでは、専決第29号 令和4年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、ご報告いたします。

恐れ入りますが、会議要項の3ページをお開きください。

専決第29号 令和4年度越谷市教育費補正予算の見積りについて。

令和4年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

令和4年11月10日、越谷市教育委員会教育長。

それでは、恐れ入りますが、別冊の「令和4年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書」の2ページ及び3ページをお開きください。

はじめに、歳入についてご説明いたします。3ページの表の一番下でございます、歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入につきましては、今回3,535万円を追加し、補正後の

総額は、27億3,270万9,000円となります。

歳入の内容でございますが、8ページ及び9ページの歳入予算説明書をご覧ください。14款国庫支出金、2項国庫補助金、7目教育費国庫補助金につきましては、中学校の施設改修に係る事業費の確定に伴い、中学校費補助金400万円を減額するほか、エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策に係る給食材料費に伴う国庫補助金として、保健体育費補助金5,500万円を追加します。

次に、17款寄附金、1項寄附金、6目教育費寄附金につきましては、学校保健に係る指定寄附がございましたので、保健体育費寄附金10万円を追加します。

次に、20款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、その他雑入として市主催のスポーツ大会における怪我に対する市民総合災害等補償金5万円を追加します。

次に、21款市債、1項市債、6目教育債につきましては、小学校屋内運動場空調設備設置事業に伴う追加、及び小学校の設備等改修工事に係る事業中止に伴う整理として、小学校債5,160万円を減額します。

また、中学校屋内運動場等空調設備設置事業に伴う追加、及び国庫補助金と同様に中学校の施設改修に係る事業費が確定したことを受けて、中学校債3,580万円を追加します。

次に、歳出の内容でございますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回5,605万円を追加し、補正後の総額は117億3,171万4,000円となります。

歳出の主なものについてご説明を申し上げます。20ページ及び21ページの事業別予算説明書をご覧ください。下段の、1項教育総務費、5目科学技術体験センター費のうち、科学技術体験センター管理運営費につきましては、科学技術体験センターに係る光熱水費200万円を追加します。

22ページ及び23ページをご覧ください。2項小学校費、1目学校管理費のうち、学校活動運営費につきましては、新型コロナウイルス感染症の対応に伴う通信運搬費130万円を追加します。

また、施設管理費につきましては、小学校に係る光熱水費等の追加に加え、施設改修に係る工事費の追加、及び事業中止に伴う減額、並びに小学校の屋内運動場空調設備設置に係る委託料として、合わせて4,260万円を減額するほか、備品等整備事業につきましては、小学校に係る備品購入費140万円を追加します。

24ページ及び25ページをご覧ください。3項中学校費、1目学校管理費のうち学校活動運営費につきましては、新型コロナウイルス感染症の対応に伴う通信運搬費80万円を追加します。

また、施設管理費につきましては、中学校に係る光熱水費等の追加に加え、施設改修に係る工事費の追加、並びに中学校の屋内運動場等空調設備設置に係る委託料として、合わせて4,340万円を追加するほか、備品等整備事業につきましては、中学校に係る備品購入費180万円を追加します。

次に、2目教育振興費の就学援助事業につきましては、対象生徒の増加に伴い就学援助費900万円を追加します。

26ページ及び27ページをご覧ください。6項社会教育費、1目社会教育総務費のうち文化振興

事業につきましては、日本文化伝承の館に係る光熱水費100万円を追加します。

次に、3目コミュニティセンター費のコミュニティセンター費につきましては、越谷コミュニティセンターの光熱水費の増加に伴う委託料1,700万円を追加します。

次に、5目図書館費のうち、施設管理費につきましては、図書館に係る光熱水費300万円を追加します。

28ページ及び29ページをご覧ください。中段の、7項保健体育費、2目学校給食費のうち、学校給食事業につきましては、学校給食に係る消耗品費の追加及び国の地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策に係る給食材料費の追加並びに学校給食センターに係る調理用機器購入費等として、合わせて6,230万円を追加します。

また、施設管理費につきましては、給食センターに係る光熱水費及び修繕料として、合わせて3,600万円を追加します。

30ページ及び31ページをご覧ください。3目体育費のうち、体育施設管理運営費につきましては、市民プールに係る消耗品費110万円を追加するほか、その他体育費につきましては、市主催のスポーツ大会における怪我に対する補償金として、歳入と同額の5万円を追加します。

なお、その他の項目につきましては、人事異動に伴う、職員人件費の整理に係る減額が主なものでございます。

詳細は事業概要欄をご参照いただきまして、ご了承賜りたいと存じます。

恐れ入りますが、6ページにお戻りください。債務負担行為でございますが、追加が9件、廃止が1件、変更が2件ございます。まず、債務負担行為の追加でございますが、表の上から2つ目の「校内系ネットワーク保守管理等委託料」につきましては、教育ネットワーク再構築に向けて事業を推進するため、令和4年度から令和5年度までを期間として設定するものでございます。また、「小学校屋内運動場空調設備設計委託料」及び2つ飛びまして「中学校屋内運動場等空調設備設計委託料」につきましては、小中学校の屋内運動場への計画的に空調設備の設置を進めるため、令和4年度から令和6年度を期間として設定するものでございます。

さらに、表の上から5つ目の「小中一貫校整備アドバイザー業務委託料」につきましては、民間活力を導入して、(仮称)蒲生学園、(仮称)川柳学園の整備を進めるため、令和4年度から令和5年度までを期間として、設定するものでございます。

なお、その他の5件の債務負担行為につきましては、各事業の来年度に向けた準備行為が必要であることから、令和4年度から令和5年度までを期間として、設定するものでございます。

次に、中段の廃止でございますが、小中一貫校整備モニタリング業務委託料につきましては、(仮称)蒲生学園、(仮称)川柳学園の整備に係る事業スケジュール等に変更が生じたため、廃止するものでございます。

次に、下段の変更でございますが、小学校施設改修事業につきましては、9月補正予算で設定

いたしました債務負担行為額につきまして、施設改修事業を新たに追加して実施することとなったため、限度額を表のとおり変更するものでございます。

また、小中一貫校整備運営費につきましては、9月補正予算で変更いたしました債務負担行為限度額について、事業スケジュール等に変更が生じたため、期間及び限度額を表のとおり変更するものでございます。

続きまして、7ページをご覧ください。地方債の変更でございますが、歳入で説明いたしましたとおり、小中学校屋内運動場等空調設備設置事業に伴う追加及び小学校の設備等改修工事に係る事業中止に伴う整理のほか、中学校の施設改修に係る事業費が確定したことを受けて、市債の限度額を、表のとおり変更するものでございます。

教育長専決第29号に係る報告は以上でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

山口委員。

山口委員 債務負担行為の校内系ネットワーク保守管理等委託料については、ネットワークの再構築という説明でしたけれども、具体的にはどういったものなのですか。新しく組み合わせていくということでしょうか。

吉田教育長 教育センター所長。

菊池教育センター所長 資料6ページ、(3)、債務負担行為の2番目の校内系ネットワーク保守管理等委託料3,700万円についてでございますが、まず経過のご説明を先にさせていただきます。

現在学校が利用するインターネット環境につきましては、令和4年度中に回線を増強する計画でございましたが、学習者用デジタル教科書の今後の導入ですとか、様々な学力・学習状況調査をiPadで行うC B T化、あるいは授業の中での活用はもとより、授業配信等も含めたネットワークの更なる増強、強化・改善が必要となったことから、令和4年度から令和5年度にかけて学校ネットワーク全体を見直すこととなりました。回線事業者並びに接続方法、ネットワーク構成が令和5年1月中旬頃に決定をする予定で、関係するインターネットデータセンターについてネットワーク機器の調達、設定を令和4年度中から開始する必要があることから、債務負担行為の設定をするものでございます。

具体的には現在の越谷市のネットワークなのですが、学校からネットワークに接続する間に、人間の体でいう脳や心臓にあたる中核となるデータセンターというものがございます。学校からデータセンターを結ぶ回線と、データセンターからインターネットにつながる部分、いわゆるS I N E Tにより全ての教室で授業が今以上にスムーズにできるように、あと冒頭で申し上げました学習者用デジタル教科書や各種調査のC B T化、日頃の授業配信や授業でもスムーズ繋がるように、今年度の1月から来年度の8月末までで全てのネットワーク構築を行っていく予定でございます。

なお、限度額の3,700万円については、令和4年度で2,200万円、令和5年度で1,500万円でございます。

以上でございます。

吉田教育長 よろしいでしょうか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 同じく債務負担行為のところ、児童生徒健康管理検査手数料というのは具体的にどういふものでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 こちらにつきましては、児童生徒の尿検査に関するものでして、6月30日までに尿検査を行わなければならないので、その準備期間として今年度に債務負担行為を設定するものでございます。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 これは毎年実施しているものですよね。

磯山学務課長 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、この件については以上とします。

◎協議事項 「令和4年度越谷市二十歳のつどいについて」

吉田教育長 続きまして、協議事項に入ります。

「令和4年度越谷市二十歳のつどいについて」、生涯学習課長から説明いたします。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 それでは、令和4年度越谷市二十歳のつどいについて、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の5ページをお開きください。

事業の名称につきまして、今年度4月の定例教育委員会会議においてご協議をいただきましたが、「民法の一部を改正する法律」が令和4年4月1日から施行され、成年年齢が18歳に引き下げとなったことに伴い、これまでの「成人式」に代わる新たな名称として「二十歳のつどい」に決定をしております。

開催の趣旨につきましては、市を挙げて20歳に達した青年の新しい門出を祝福するものでございます。

期日につきましては、令和5年1月8日日曜日でございます。成人の日は翌日の9日月曜日でございますが、平成15年度から成人の前日の日曜日に開催をしております。

会場につきましては、例年と同様に、13地区に実行委員会が組織されており、そのうち大沢地区と北越谷地区が合同で行われますので、12会場でございます。なお、令和4年度は文教大学をお借りすることができないため、以前文教大学で合同で行われておりました出羽地区と荻島地区が、それぞれ武蔵野中と西中で実施いたします。

次に、対象者数でございますが、本年11月1日現在で3,257人となっており、男性が1,637人、女性が1,620人ございまして、昨年に比べ28人減っております。なお、対象者への案内状につきましては、11月1日現在、越谷市に住民登録のある対象者に、来月、12月初旬に発送を予定しております。

続いて、式典の内容でございますが、例年と基本的に変更はございません。「開式のことば」から「実行委員長あいさつ」、「式辞」、「記念品の贈呈」、「祝辞」等となっております。また、式辞及び記念品の贈呈、誓いのことばの受領につきましては、委員の皆様をお願いしているところがございます。

次に、(2)の催し物等につきまして、現在各地区において20歳の方々を中心に企画が練られている状況でございます。

次に、記念品につきましては、対象者全員に贈呈いたしますが、本年は多機能ペンとなっております。

最後に、各地区の開催日程及び委員の皆様のご出席についてご説明申し上げます。恐れ入りますが、会議要項の6ページをお開き願います。こちらにつきましては、市長及び市長代理者として、委員の皆様を担当していただく地区をお示ししております。会議要項記載の事務局案につきましては、あらかじめ市長部局と調整したものを提示させていただいておりますので、申し添えいたします。

委員の皆様をお願いする8地区につきまして、概要をご説明いたします。

まず、1番の桜井地区でございますが、会場は北中学校体育館でございます。対象者は338人で、受付開始時間は12時30分、式典開始時間は13時でございます。

2番の新方地区の会場は、新栄中学校体育館でございます。対象者は277人で、受付開始時間は13時、式典開始時間は13時30分でございます。

3番の増林地区の会場は、東中学校体育館でございます。対象者数は197人で、受付開始時間は12時30分、式典開始時間は13時でございます。

4番の大袋地区の会場は、埼玉県立大学講堂でございます。対象者数は400人で、受付開始時間は12時30分、式典開始時間は13時でございます。

5番の荻島地区の会場は、西中学校体育館でございます。対象者数は235人で、受付開始時間は13時30分、式典開始時間は14時でございます。

7番の蒲生地区の会場は、越谷コミュニティセンター小ホールでございます。対象者数は229人

で、受付開始時間は10時、式典開始時間は10時30分でございます。

9番の大相模地区の会場は、大相模中学校体育館でございます。対象者数は286人で、受付開始時間は13時、式典開始時間は13時30分でございます。

最後に、10番の大沢・北越谷地区の会場は栄進中学校体育館でございます。対象者数は308人で、受付開始時間は13時30分、式典開始時間は14時でございます。

委員の皆様にご担当いただく地区の説明につきましては、以上でございます。委員の皆様にご担当いただくかにつきましては、今後調整させていただきたいと存じます。

なお、二十歳のつどいの式辞につきましては、12月の定例教育委員会会議終了後、皆様にお渡しさせていただきますので、よろしく願いいたします。

また、議長及び各議員の皆様のお出席予定につきましては、12月の定例教育委員会会議でご報告させていただきますと存じます。

令和4年度越谷市二十歳のつどいについての説明は以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口委員 ご説明ありがとうございます。質問ではないのですが、コロナの感染状況が非常に心配なところかなと思っております。ただ、中学校を卒業して5年たって、久しぶりに同窓生と会う大切な機会になるかなと思っております。久しぶりに会うという方もかなりの人数がいるのではないかなと思いますので、旧交を温める場でもありますし、また地域とのつながりを強く感じる場でもあるかなと思いますので、ぜひ実施できればいいなと強く願っています。

以上です。

吉田教育長 その辺りはいかがでしょうか。予想するというのは難しいでしょうけれども。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 予想といいますか、感染状況がどうなるかということでは、少しお答えが難しいところですが、現在全地区におきまして実行委員会が組織され、準備にあたっているところでございます。その中で昨年度にもご指摘をいただいたところでございますが、今後新型コロナウイルスの感染者数につきまして、厳しい状況が想定されるところでございます。改めての感染対策といたしましては、例えば来賓の控室について、昨年度の現場での状況を伺いましたので、その対応や式典会場内の座席の配置のほか、全体的な感染対策として検温や消毒、マスク着用の徹底を呼びかけたいと存じますが、入場時だけでなく、式典を迎える前についてもしっかりとアナウンスをしていこうということで、各公民館長にも改めて注意喚起や共通認識を図るなど、情報共有をしているところでございます。

したがって、今後の状況にもよりますが、現時点におきましては、しっかりとした感染対策を講じて、事業の実施に臨むという状況でございます。

以上でございます。

吉田教育長 現時点では式典の部については、従来どおりということで進めて、状況に応じて一部変更して行く可能性もあるということでございます。

何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 対象者は令和4年11月1日現在で住民票が越谷市にある者ということだったのですが、例えば引っ越しをしたり、住民票が越谷市にない場合もあると思います。例えば招待状の中で、もし友達で市外に出ている方がいるなら、お誘いをしてみてくださいといった案内はしないのでしょうか。

吉田教育長 その辺りの配慮ということですよ。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 対象者へのご案内につきましては、葉書を送付しておりますが、葉書につきましては先ほど申し上げましたとおり、本市に住民登録のある方、送付先の住所を我々が把握している方となります。ただ、市外に転出された方もいらっしゃいますし、市内でもお住まいの地区から他の学区の中学校に選択制で通ったりした方もいらっしゃいますので、どの会場でも参加いただくことは可能ですというご案内をしております。

知り合いにも呼びかけをしていただくようなご案内はしておりませんが、どの会場でも参加することが可能ですので、市外にお住まいの方であっても、本市の会場ならどこでも参加できることを、ホームページなどのご案内しております。

以上でございます。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 このあたりにつきましては、結構友達同士で呼びかけ合ったりしています。

渡辺委員 よかったです。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上とします。

◎その他 「令和5年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況について」

吉田教育長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

「令和5年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況について」、学務課長から説明いたします。

学務課長。

磯山学務課長 それでは、令和5年度新中学校1年生を対象とした中学校選択申請状況についてご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の7ページをご覧ください。

はじめに、9月以降の日程についてご説明します。9月中にインターネット上に掲載した説明用動画で保護者への説明を実施し、9月27日までに申請書を提出していただきました。10月12日に申請状況の集計結果を文書で保護者に通知するとともに、越谷市のホームページで公表しました。

その後、10月24日までの選択申請変更期間を経て、令和5年度入学生を選択状況が決定した結果を改めて11月9日に保護者に文書で通知するとともに、越谷市のホームページで公表いたしました。それが会議要項8ページにあります、令和4年11月1日現在の中学校選択制集計一覧でございます。

それでは、会議要項8ページにあります中学校選択制集計一覧をもとに、令和5年度入学予定者の中学校選択状況についてご説明いたします。(A)は、基本学区の中学校を選択した人数でございます。(B)は、基本学区外から当該中学校を選択した人数でございます。(C)は、(A)と(B)の合計です。例えば中央中学校の場合には、基本学区の238人に基本学区外から49人を加えた数、287人の児童が中央中を希望していることとなります。

次に、一番下の計の欄をご覧ください。基本学区の中学校を選択した人数の合計が2,803人、基本学区以外の中学校を選択した人数の合計が235人、従いまして、市内の中学校への就学希望者の合計が3,038人となります。

また、表の一番右の列は、各中学校の基本学区内に在住している中学校1年生の人数、つまり中学校選択制がない場合、本来その中学校に通う者の人数となっております。

なお、令和5年度の新中学1年生につきまして、富士中学校・栄進中学校は、基本学区以外の生徒を受け入れるための余裕教室がないことから、基本学区以外からの受入定員を0人といたしました。富士中・栄進中を除く他13校の基本学区以外からの受入定員は、それぞれ35人となっております。従いまして、中央中、北中の2校が抽選校となりました。抽せん会は、11月27日曜日に越谷市中央市民会館1階劇場で開催され、就学する中学校が決定いたします。

再度、会議要項7ページの下の部分をご覧ください。中学校選択制が開始されて来年度で18年目を迎えますが、令和5年度入学予定者以外に過去4年分の選択状況を載せましたので、ご覧ください。令和5年度入学予定者の選択申請書発行総数は3,074人ございました。選択申請書発行総数とは、来年の4月に中学校新1年に就学を予定している人数でございます。

基本校の選択状況、あるいは基本校以外を選択状況を見ますと、あくまでも11月1日現在の状況でございますが、約91%が基本学区の中学校を、約8%が基本学区以外の中学校を、さらに1%

が市外の中学校等への就学を予定していることが分かります。この傾向はここ数年変わりません。

今後の日程についてご説明いたします。11月27日に抽選会を実施した後、1月中旬に就学通知書が発送されます。その後、転出等で辞退者が出た場合、抽選で漏れた方の繰り上げもあります。その繰り上げは2月10日で締め切れ、最終的に就学する中学校が決定することになります。市内中学校では、2月6日に入学説明会が行われ、新入学への準備が始まります。

令和5年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況についてのご報告は、以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

荒木委員。

荒木委員 中学校選択制説明会を昨年度からインターネット上の説明動画で行っていてよいと思いますが、保護者の方々の反応等はいかがでしょう。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 本来は各小学校で行っていましたが、コロナ禍において、保護者を集めることができないというような状況がございましたので、インターネットを活用したということでございます。学校からは自分の好きな時、好きな時間に見ることができるということで、大変好評を得ているという声を伺っているところでございます。

以上でございます。

吉田教育長 よろしいですか。

荒木委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口委員 ご説明ありがとうございます。基本校以外を選択する児童が235人ということで、例年と同じような傾向だというお話だったのですけれども、若干人数が減ってきたのかなと思いました。確認なのですけれども、そこには富士中学校と栄進中学校が選択できないということも影響があるのでしょうか。今までの選択の状況と今回、そして次年度以降についてもこの2校は選択ができないのかなと思うのですけれども、その辺りの見通しとしてはどうなのでしょう、

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 確かに富士中学校と栄進中学校につきましては、施設の余裕状況を考慮して、ここ数年間において選択制の抽選校にならない時もございます。その点につきましては、非常に大きな学校でございますので、今後も少し状況を注視しなければならないところでございます。現時点で、できるのかできないのかということについては、申し上げることができませんが、注視してまいりたいと思っております。

以上でございます。

吉田教育長 よろしいですか。

野口委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 本来新中学生になる方が3,074名いらっしゃって、実際に越谷市の中学校を選択される方が3,038名ということは、36名の方が既に他市県に行く予定があるということなのかと思いますが、その理由というのは把握しているのでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 7ページをご覧ください。(4)番のところに越谷市の中学校を利用しなかったものは36名と記載していますが、この人数については、特別支援学校に通っているということになります。

渡辺委員 はい、分かりました。

吉田教育長 私立学校へ進学するというのはこれからでしょうか。

磯山学務課長 これからになります。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

今後、児童数や生徒数につきましては、減少期に入りますけれども、選択制というのは今後どうするのか、その見通しについてある程度検討していますか。

学校教育部長。

青木学校教育部長 中学校選択制につきましては、一定の成果を上げてきたというのが例年報告する中で委員の皆様からもお話をいただいているところでございます。学務課としましては、今後中学校選択制と小中一貫教育の推進とをどうすみ分けていくのか、もしくは考え直していくのかということを検討している段階でございます。

小中一貫教育を進めていくということであれば、小学校、中学校の学区が一致していることにより、9年間の学びを連続して行えるという利点が最大の魅力でございますが、その場合には中学校選択制と相反するところがあるという考え方もございますので、保護者のアンケート等も実施しながら、今後この中学校選択制をどのようにしていったらいいのかということにつきまして、さらに検討を深めていきたいと、考えているところでございます。

吉田教育長 選択制はあるのですけれども、3学園構想が実現した場合、当初の計画より1年遅れの令和9年度の予定ということになりますが、その時点では選択制は実施するという説明をしています。しかし、その後児童生徒数が減少することからそのときに支障になることとしては、例えば中学校において生徒数が減少してクラス数が少なくなると、各教科担当の教員全てをフルタイムで配置することが難しくなるという状況もありますので、ある程度はそれらのことも含めて見直しを図っていくということによろしいですか。

青木学校教育部長 はい。

吉田教育長 他に何かございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 事務局からは何かございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ、以上といたします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時につきましては、12月22日木曜日、午前10時から教育委員会会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしく願いいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本定例会に提出されました議事は終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。ありがとうございました。

(午後 2時11分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長 吉 田 茂

委 員 野 口 久 男

委 員 荒 木 明 子

委 員 渡 辺 律 子

委 員 山 口 文 平

書 記 教育総務課調整幹 濱 田 尊 則